

鳥取大学眼科専門研修プログラム

● 概要：

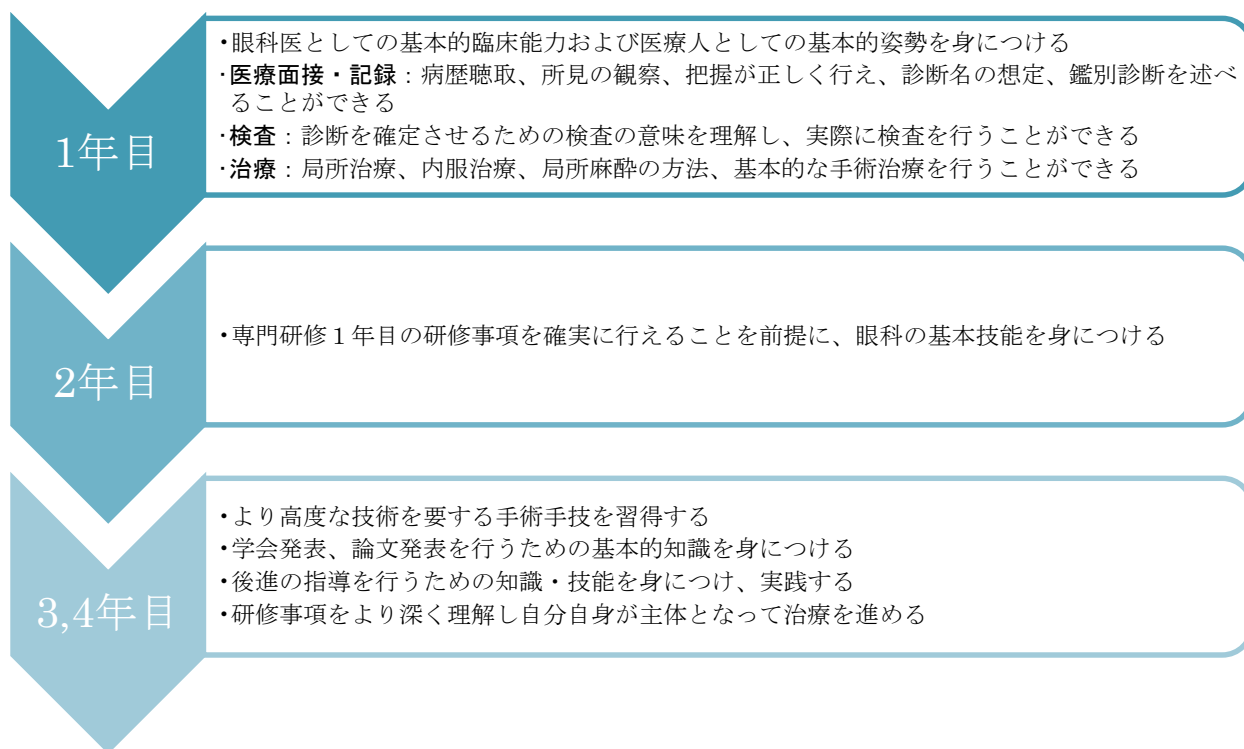
2年間の初期臨床研修を修了した後に、眼科専門医資格取得に向けて4年間の研修を行います。

眼科は29年度については、新専門医制度によらず旧制度のまま行うことになっていますが、もともと眼科は研修内容については新旧の差はあまりなく、当院では新専門医制度の利点をとりいれつつ、その要件にしばられない形で、個々の専攻医のニーズに応じた研修を行います。

本プログラムでは、【一般眼科学に精通し、専門性の高い眼科治療にも対応できる】【一般診療所のみならず総合病院の眼科医として十分に貢献できるだけの必要かつ十分な技術を身につけ、将来地域で活躍できる】【診療技能のみならず、学会発表や論文作成を通じて科学的に思考できる】眼科医を目指します。

● 年次毎の専門研修計画：

年次毎の到達目標は下記の通りです。なお、詳細は研修マニュアルを参照してください。



● 専門研修連携施設：

地域の中核病院

鳥取県立中央病院

松江赤十字病院

地域医療を担う病院

鳥取赤十字病院

野島病院

山陰労災病院

松江市立病院

島根県立中央病院

串本有田病院

● **研修スケジュール：**

各研修施設では、それぞれの特徴を活かした眼科研修を行い、眼科領域研修委員会が定めた研修到達目標や症例経験基準に掲げられた疾患や手術が経験できます。

スケジュール例は下表のとおりです。専攻医の希望になるべく沿ったプログラムを構築しますが、いずれのコースを選んでも最終的に研修到達目標に達することができるようにローテーションを調整します。

コース	1年目	2年目	3年目	4年目	修了後（5年目）
一般病重点コース	基幹施設	地域の中核病院	地域医療を担う病院	地域医療を担う病院	地域医療を担う病院（勤務）
高度手術重点コース	基幹施設	基幹施設	地域医療を担う病院	地域の中核病院	地域の中核病院（勤務）
大学院進学コース	基幹施設	地域医療を担う病院	地域の中核病院	基幹施設（大学院進学） （社会人勤務）	基幹施設（大学院） （社会人勤務）

● **専門医受験資格取得要件 等：**

- 専門研修を4年以上行っていること
- 知識・技能・態度について目標を達成していること
- プログラム統括責任者が専門研修プログラム管理委員会の評価に基づき、研修修了の認定を行っていること
- 手術については、執刀者、助手 合わせて100例以上を行っていること。そのうち、内眼手術、外眼手術、レーザー手術をそれぞれ執刀者として20例以上行っていること
- 筆頭著者として1篇以上の学術論文を執すること
- 日本眼科学会総会ならびにその関連学会で2回以上術発表を行うこと

● **本プログラムの特徴：**

- 鳥取大学医学部附属病院眼科では幅広い分野の紹介患者があり、平成27年には、眼科専門医が研修すべき手術のほぼ全てを施行しています。研修では、眼科病棟および外来をローテーションします。
- 鳥取大学医学部附属病院眼科の関連病院[※]では、基幹施設や専門研修連携施設ではカバーできない領域の研修を受けることができます。

※ 鳥取県立厚生病院／博愛病院／済生会境港総合病院／日野病院／伯耆中央病院／垣田病院／岩美病院／浜田医療センター／雲南市立病院／隠岐病院／隠岐島前病院／済生会江津総合病院／松江生協病院